

英語科学習指導案

日時 令和元年5月17日（金）1校時
対象 3年4組 男子20名 女子20名 計40名
指導者 教諭 牧 俊 輔

1 単元名 SUNSHINE ENGLISH COURSE 3 PROGRAM 2 Volcanoes in Japan

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、リサと桃子が鹿児島に引っ越した太郎からの手紙をきっかけに火山について話したり発表したりする内容で、リサと桃子による太郎に関する対話、太郎からの手紙、桃子による活火山に関する発表という単元構成になっている。言語材料としては、現在完了形の経験や継続の用法が扱われている。さらに、「話すこと [発表]」の活動をする際に有効な表現の工夫などが扱われている。例えば、具体的な数値を用いたり物事を擬人化して比喩的に伝えたりすることや、聞き手の関心を引き付けるための表現などが扱われている。また、本校生徒にとって身近な桜島が話題になっていることから、鹿児島の自然や風土などのよさについて考えることも可能である。このような言語材料を基に、鹿児島のよさについて、自分の経験や身近な話題、他国との比較や客観的な資料等を踏まえ、自他の考えを深め、それらを発表することが可能である。よって、本単元は、鹿児島のよさに関する自分の意見について、他の生徒や身近な外国人に考えを伝えたいという意欲をかき立てる題材であると言える。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、比較的小となしいが、意欲的に課題に取り組み、言語活動においても既習事項を活用しながらコミュニケーションを図ろうとする姿がみられる。また他の意見に対して、寛容な態度で理解しようとしたり、自分なりの感想や考えをもって返答したりしようとする支持的風土が高まってきている。さらに、表現が苦手な生徒であっても、ペア・グループ活動を通して質問をしながら、なんとかコミュニケーションを続けようと努力する生徒が多い。

アンケートを分析すると、英語の活動については、話すことに興味がある生徒が多く、「将来英語を話せるようになりたい」と思っている生徒が多いことも分かる。また、特に英語でのやりとりに興味がある生徒が多く、英語が話せるようになったら、「外国人と雑談がしたい」、「議論がしたい」などと述べていることから、即興性のあるコミュニケーションに魅力を感じていることが分かる。他者の考えや客観的な資料などを自分の考えに取り入れることで、自身の考えがよりよくなることを自覚する生徒が多い。これは、これまで継続的に取り組ませてきた協働的な言語活動やそれ

を活性化するための知的コミュニケーションの意義を十分に理解していることを裏付けると考えられ、授業においても、積極的に取り組むことができる環境が整っていると考える。しかし、一方で、語彙は増えてきたが、相手に伝わるように上手くまとめられない、伝えることだけで精一杯であると、伝えることへの楽しみが薄れてきていることも分かった。そこで、表現活動の際には、既習の文法事項や語彙等を活用しながら、Story message の中に比喩表現やキーワードなどを織り交ぜさせたり、言語要素以外にも Visual message, Physical message を組み合わせさせたりするなど、様々な工夫を単元を通して継続的に講じることができれば、生徒の知的コミュニケーションの活性化につながると考えた。さらに、教師がやりとりの中で正確性の誤りに気付かせ、頻繁に起こる誤り等について学級全体で共有できるよう教師の発話を工夫しながら、英語を話す活動を行いたい。その上で、話したことを基に授業中だけでなく、家庭学習の中でも繰り返し書く活動を取り入れることで、教師は話す活動で気付いた誤り等を中心に、適切に正確性について指導することができる。すると、生徒により正確に英語を話させることができるので、生徒の不安を解消することができ、活発な知的コミュニケーションを行わせることができると考えた。

さらにアンケートを分析すると、英語でのやりとりには興味関心が高い一方で、英語での発表については不安を抱える生徒が多いことが分かる。その理由を分析すると、正確性に対する不安に加え、自身の意見を簡潔に要約することを苦手と感じており、それを改善することで、自身の英語を話す力が高まると考える生徒も少なくない。アンケートでも、段落構成や具体例の提示を行う一方で、「相手の心に響くような表現ができない」、「文が長くなり、相手に伝わっているかどうか分からない」といった意見も見られた。そこで、他者を意識し、相手の心を動かすプレゼンテーションを作り上げていく活動を取り入れ、教科書の本文の内容や教師とのやりとりの内容から、考えや意見を簡潔に要約させたり、活動を単元を通して行うことで、自身の考えにおいても、簡潔に内容を要約させることができると考えた。また、その際には、受け手の考えや経験、客観的な事実等を踏まえた上で考えを要約させ、よりよく受け手が理解できるように配慮させたい。

また、生徒の家庭学習の様子を分析すると、スペリング帳（英語の自宅学習用ノート）に取り組む際には、単なる暗記作業をするのではなく、半数の生徒が自己課題の解決に取り組んでいることが分かる。このことから、生徒に常に自己課題を意識させ、さらに、授業終末時において単元構成や授業と家庭学習との繋がりを確認させることができれば、生徒の能動的な学習が活性化されると考えた。

(3) 指導観

本単元の特性を生かし、large task を「鹿児島よさを台湾の実習生に伝えよう」とし、鹿児島よさについて自分の考えをまとめ、それを台北教育大実習生が理解し、かつ鹿児島に好感をもってもらおうように工夫しながら表現させるような授業を展開したい。そのためにまず、第1時において、鹿児島よさや台湾の文化や風土について意見交換したり、large task の設定を行ったりした上で、ICEルーブリックシートを配布し、単元の見通しや家庭学習での取組についての見通しをもたせる。その後、モデルとなるスピーチ動画と自分がまとめた考えとを比較させる等し、自己課題を発見させる。第2時以降のsmall tasks においては、教科書の内容を中心に、鹿児島よさを感じた身近な経験や、伝統的に続いている文化芸能、あわせて、鹿児島よさをよりよく伝えるための言語材料を理解させる。また、モデルとなるスピーチ動画や教科書本文を用いて、比喩表現を用いたり、客観的データや数値を提示したり、身近な経験を意見文の中に取り入れたりするなど、相手が理解しやすいようにするための工夫に気付かせる。さらに、教科書本文の理解において、推論発問等を用いながら内容を要約して理解させる。言語活動においても、気付いた表現の工夫を積極的に取り入れることが可能になるように活動を組み立て、large task で用いる発表原稿において自信をもって活用できるようにしたい。また、音読練習や表現活動の際には、受け手への伝達性を考慮し、音声の特徴やジェスチャー、立ち姿等まで意識化できるように継続的に指導したい。その後、「鹿児島よさを発表しよう」というmiddle task に取り組ませ、「LAF」学習を通して、新たに見いだした課題を解決させながら、よりよい発表になるように改善させる。また、資料や表現の工夫を用い、相手に伝えたい内容を簡潔に分かりやすく伝えさせる経験を積ませ、自信をもってlarge task に挑ませたい。large task では、middle task やsmall tasks の経験を生かし、考えを発表させる。

このような指導を通し、生徒が他者に対する理解を基に、適切な表現の工夫を用いたり、要約の視点をもったりしながら自分の考えや思いを伝えられるようにしたい。そうすることで、受け手の心的な変化を促し、考えや行動を生み出すことができる力を育むことができれば、豊かなコミュニケーションを図る資質・能力を身に付けた生徒を育成できると考えた。

【アンケート結果】 (実施日：平成31年4月10日 アンケート対象者：3年4組 男子20名 女子20名 計40名)

- | | |
|---|---|
| 1 | 英語の活動の中で、最も興味がある活動はどれですか。 |
| ア | やりとりをする活動・・・40.0% (理由：将来必要だ、文法を気にしなくても伝わる、相手から表現を学べる など) |
| イ | 書く活動・・・25.0% (理由：自分の考えを書き上げたときの達成感が大きい、入試で必要 など) |
| ウ | 聞く活動・・・20.0% (理由：音楽を聴くときや映画を見るときに役に立つ など) |
| エ | 読む活動・・・10.0% (理由：物語を読めるようになりたい、想像力を膨らませるのが楽しい など) |
| オ | 発表する活動・・・5.0% (理由：緊張しながら発表したときのクラスメイトの反応がうれしい など) |
| 2 | 英語の活動の中で、最も不安を感じている活動はどれですか。 |
| ア | 発表する活動・・・60.0% (理由：緊張する、発音やアクセントが正しいのか不安、意見や内容に自信がない など) |
| イ | やりとりをする活動・・・27.5% (理由：言いたいことを瞬時に英語にできない、相手に伝わっているのか不安 など) |
| ウ | 書く活動・・・7.5% (理由：単語や文法を正しく覚えるのが苦手、日本語を英語にできないとくやしい など) |
| エ | 聞く活動・・・2.5% (理由：リスニングテストで必ずミスをしてしまう など) |
| オ | 読む活動・・・2.5% (理由：長文の内容を理解できないことが多い など) |
| 3 | あなたは、将来英語を話すことができるようになりたいですか。 |
| ア | 是非なりたいたい・・・55.0% (理由：グローバル社会で必要不可欠、外国人と話したい、海外旅行で必要 など) |
| イ | できればなりたいたい・・・40.0% (理由：職場に外国人が多くなると言われているから、話せたらかつこいい など) |
| ウ | あまり必要性を感じない・・・5.0% (理由：外国人とか関わるのが苦手、海外に行く予定がない など) |
| エ | なりたくない・・・0.0% |
| 4 | 英語を話せるようになったら、外国の人を相手にどのようなことをしたいですか。 |
| ア | 雑談・・・90.0% (理由：外国人の友達を増やしたい、自分のことなどでどこまで通用するか試したい など) |
| イ | 議論・・・5.0% (理由：相手がいると助け合える、ジェスチャーを使える など) |
| ウ | 意見交換・・・2.5% (理由：意見を交換することで初めて友達になれると思う など) |
| エ | その他・・・2.5% (理由：一緒にゲームやスポーツをしたい など) |

5. 英語で話すことは得意ですか。

[やりとりについて]

- ア とても得意・・・ 0.0%
- イ どちらかと言えば得意・・・12.5% (理由：GTや日頃授業でやっている，単語だけでも伝わることもある など)
- ウ どちらかと言えば苦手・・・42.5% (理由：すらすら英語が出てこない，自分の考えが正しく伝わっているか不安 など)
- エ とても苦手・・・ 45.5% (理由：緊張してしまう，相手が言っていることが分からないことがある など)

[発表について]

- ア とても得意・・・ 0.0%
- イ どちらかと言えば得意・・・10.0% (理由：話す内容を考えて準備できる 自分の意見を言えればいいから など)
- ウ どちらかと言えば苦手・・・40.0% (理由：発音やイントネーションが正しいか不安 など)
- エ とても苦手・・・ 50.0% (理由：自信がない，人前で話すのが苦手，正しく伝わっているか不安 など)

6. 英語を話す力を高めるために、今の自分に最も必要だと感じていることは何ですか。

[やりとりについて]

- ア 豊富な語彙・・・ 42.5% (理由：話が続けられる，相手の意見が正確に理解できる，単語だけでも伝わる など)
- イ 文法の正確性・・・ 25.0% (理由：正確に自分の考えが伝わっているか不安になる，詳しく説明したい など)
- ウ ジェスチャーや表情・・・10.0% (理由：英語が正確ではなくても伝わることもある など)
- エ 発音やイントネーション・・・10.0% (理由：発音に自信がない，発音が違うと誤解されることがある など)
- オ 簡潔に話をまとめること・・・ 5.0% (理由：話が長くなると相手も嫌に思う，難しく考えすぎてしまう など)
- カ 文と文とのつながり・・・ 2.5% (理由：ただ意見を並べているだけでは不十分だと思う など)
- キ 例え話・・・ 2.5% (理由：内容が簡単になりすぎて話がすぐ終わってしまう など)
- ク その他・・・ 2.5% (理由：話すことと同時に聞くことも大切で，理解し合うことが大切だと思う など)

[発表について]

- ア ジェスチャーや表情・・・32.5% (理由：内容に合ったジェスチャーを考えるのが難しい，意見が伝わりやすくなる など)
- イ 文法の正確性・・・17.5% (理由：簡単な表現だけになっている気がする，表現の幅が広がる など)
- ウ 発音やイントネーション・・・17.5% (理由：正しい発音じゃないと相手に伝わらない，反応が悪いと不安になる など)
- エ 簡潔に話をまとめること・・・12.5% (理由：いつも長くなってしまう，相手により分かりやすくしたい など)
- オ 豊富な語彙・・・10.0% (理由：伝わらなかつたときに他の表現に言い換えられる，内容が充実する など)
- カ 例え話・・・ 5.0% (理由：説得力をもたせられる，聞き手の興味を引きつけられる など)
- キ 文と文とのつながり・・・ 2.5% (理由：意識しないと伝えたいことが伝わらないことがある など)
- ク その他・・・ 2.5% (理由：人前で，しかも不得意なので自信がなく，恥ずかしい など)

7. 英語で話す際、積極的に会話をしようとしませんか。また、その際の自分の心境や状況はどのようなものですか。

[やりとりについて]

- ア 積極的に話す・・・ 2.5%
- イ どちらかと言えば話そうとしている・・・62.5%
- ウ どちらかと言えば話そうとはしていない・・・27.5%
- エ 消極的で話そうとしない・・・ 7.5%

[心境や状況]

- ア 話す内容は思いつくが，語順や単語に不安がある・・・ 50.0%
- イ 話す内容は思いつくが，その内容をうまくまとめられない・・・ 25.0%
- ウ 話す内容は思いつくが，話の切り出し方が分からない・・・ 10.0%
- エ 話す内容は思いつくが，話の流れや相手の意向に沿っているかなどに不安がある・・・ 5.0%
- オ 話す内容が思いつかない・・・ 5.0%
- カ その他（緊張する，相手の反応が気になる）・・・ 5.0%

[発表について]

- ア 積極的に話す・・・ 2.5%
- イ どちらかと言えば話そうとしている・・・25.0%
- ウ どちらかと言えば話そうとはしていない・・・52.5%
- エ 消極的で話そうとしない・・・20.0%

[心境や状況]

- ア 話す内容は思いつくが，語順や単語に不安がある・・・ 32.5%
- イ 話す内容が思いつくが，その内容をうまくまとめられない・・・27.5%
- ウ 話す内容は思いつくが，話の流れや相手の意向に沿っているかなどに不安がある・・・15.0%
- エ その他（緊張する，人前で話すことが苦手）・・・12.5%
- オ 話す内容が思いつかない・・・ 7.5%
- カ 話す内容は思いつくが，話の切り出し方が分からない・・・ 5.0%

8. 自分の考えをよりよくするため際に、最も有効だと感じているものは何ですか。

- ア 自分の考えや経験・・・40.0%
- イ 周囲からの評価・・・22.5%
- ウ 友達の考えや経験・・・20.0%
- エ 客観的な資料や事実・・・12.5%
- オ 著名人の考えや経験・・・ 2.5%
- カ 周囲からの反論・・・ 2.5%

9. 外国人にかごしまの食べ物を紹介するとしたら、あなたは何を紹介しますか。

- ア しろくま・・・52.5%
- イ 鶏飯・・・22.5%
- ウ さつまあげ・・・12.5%
- エ しゃぶしゃぶ・・・ 7.5%
- オ 桜島小みかん・・・ 2.5%
- カ 桜島大根・・・ 2.5%

3 単元の計画

(1) large task 「台湾の実習生に鹿児島県のよさを伝えよう」

(2) large taskで活用させたい主な言語材料

言語の働き	学年・単元	教科書での表現
発表する	1年 P8-① 2年 MP-⑤	Do you know this doll? Today, I'm going to talk about my uncle.
説明する	1年 P5-① 1年 P5-③ 1年 P6-① 1年 P10-③ 2年 P1-① 2年 P5-① 2年 P5-② 2年 P6-② 2年 P7-② 2年 P9-① 3年 P1-① 3年 P2-③	It's like <i>cha-han</i> . She's a movie star in India. We have a lot of interesting places. Each color has a meaning. Some were eating, and others were singing. There are many other interesting stories in this book. When he stayed in Japan, he visited "Nangasac" and "Xamoschi." A lot of people came to the store to buy food. People in Japan, for example, must think of people in China when they wear clothes. It's softer than a normal tennis ball. They were brought to Spain in the 16th century. It's been "asleep" for over 300 years.
意見を言う	1年 P8-② 1年 P9-③ 2年 P3-① 2年 P3-② 2年 P5-③	That's too difficult for me. Oh, then we can't be late. You must begin your walk by 7:30 a.m. I think it's wonderful. If you go there, you can see a tall man in a Gulliver costume.
感想を述べる	1年 P4-③ 1年 P5-② 1年 P7-③ 2年 P1-②	You save a lot of kids. This is very good <i>chijimi</i> . I love this wonderful ocean and our friends there. They were hot, but I really enjoyed them.
理由を述べる	1年 P9-③ 1年 P10-③	It's very beautiful. Because I learned a lot about them at a museum.
提案する	1年 P4-② 1年 P11-② 1年 P11-④ 2年 P6-② 2年 P7-③	Let's go together. I have a good idea. You can warm yourselves this way. Greetings open the door to good communication. Now we must be the change and give the earth a future.
質問する	1年 P8-① 2年 P7-③ 3年 P2-③	Do you know this doll? Why are we still so greedy? How many volcanoes have you seen?

(3) large taskにおける活用例（大直高級中学の生徒に発表する鹿児島県に関するスピーチ原稿の例）

We have always had a special relationship with nature of Kagoshima. But, you know, Sakurajima is an active volcano. Look at this table, only 1 percent of people in the world live with volcanoes. Why have people lived for hundreds of years with this dangerous volcano? Because we are one.

Today, I'd like to talk about living with Sakurajima and I have three stories about it. First one is going to be about relationship. The second will be about gifts. And the third one will be about scenery.

First, about our relationship with Sakurajima. When Sakurajima erupts, people receive phone calls and e-mails from worried friends. However for us, it is just another day living with Sakurajima. Why can we think so? Perhaps, it's because of the mountain's huge size or stories told by our ancestors that we can prepare for and live with Sakurajima. Although we may sometimes feel negative towards Sakurajima, it is totally natural like the family who is bound by strong love. In other words, Sakurajima is family.

Next, let me talk about gifts from Sakurajima. Sometimes Sakurajima is a dangerous thing that we try to avoid. Even so, are we happy if Sakurajima disappears? I don't think so. Sakurajima gives us a sense of security and helps us relax. Hot springs, Sakurajima-daikon and komikan are great benefits.

So far, we talked about relationship with Sakurajima and gifts from it. And now, we are going to talk about the beautiful scenery of Sakurajima. Many foreigners visit Kagoshima to see the great view of Sakurajima every year. The huge volcano with the smoke standing in the beautiful sea is a symbol of Kagoshima. People get energy to see it even when they are depressed.

I want to ask you once again. Why have we lived for hundreds of years with Sakurajima? Because this is our hometown. Yes ... We are one. Many families have lived in the shadow of Sakurajima, for a long long time, helping each other. To lose Sakurajima would be like losing a member of the family. I'll continue to love my family and live with the spirit of Sakurajima forever.

(4) 単元の評価規準

ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等	ウ 学びに向かう力、人間性等
<p>① 教科書本文や鹿児島よさに関する発表原稿を、音声の特徴に注意しながら読むことができる。</p> <p>② 現在完了（継続）を用いた文構造の形、意味、用法を理解している。</p> <p>③ 現在完了（経験）を用いた文構造の形、意味、用法を理解している。</p>	<p>① 鹿児島よさに関する発表において、まとまりのある文章の中で、資料を用いたり、表現の工夫を用いて考えを分かりやすく伝えたりすることができる。</p> <p>② 教科書本文や他者の鹿児島よさに関する発表の内容を、正確に理解することができる。</p> <p>③ 教科書本文や他者の鹿児島よさに関する発表の内容を、自身の実際の生活に関連させたり、既有的知識を活用したりしながら、適切に理解することができる。</p>	<p>① 相手に分かりやすく説明するために、資料を用いたり表現を工夫したりしながら発表しようとしている。</p> <p>② 相手の意見や発表を正しく理解したり、評価したりしながら自らの表現内容や方法を、相手により伝わりやすく発表しようとしている。</p>

(5) 指導と評価の計画（太枠は本時）

時間	○タスク ・学習活動 ※家庭学習との関連	単元の評価規準	評価方法 (総括的評価)
1	<p>○ [small task] 単元のあらましを理解しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Program 2 のスキーマ形成 ・ large task の設定「鹿児島よさを台湾の実習生に伝えよう」 ・ 取り上げたい環境に関する話題の決定 ・ モデルとなるプレゼンテーション動画の視聴 ・ ICE ルーブリックシートに基づいてモデル文から身に付けるべき力等の把握と家庭で取り組む課題の確認 <p>※ 発表原稿の作成</p>	ウー①	活動の観察
2	<p>○ [small task] 鹿児島の観光地を紹介しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在完了形（継続）を用いた文構造の形、意味、用法の理解と表現練習 ・ Section 1 の内容理解と音読練習 ・ モデルとなるプレゼンテーション動画の視聴 ・ 鹿児島の観光地についての発表 <p>※ 本時の学習内容を踏まえた発表原稿への加味・修正</p>	イー② アー②	後日ペーパーテスト
3	<p>○ [small task] 鹿児島の食を紹介しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在完了形（経験）を用いた文構造の形、意味、用法の理解と表現練習 ・ Section 2 の内容理解と音読練習 ・ モデルとなるプレゼンテーション動画の視聴 ・ 鹿児島の食についての発表 <p>※ 本時の学習内容を踏まえた発表原稿への加味・修正</p>	イー② アー③	後日ペーパーテスト
4	<p>○ [small task] 白くまのプレゼンテーションにスパイスをかけるよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モデルとなるプレゼンテーションの観察 ・ Section 3 の内容理解と音読練習 ・ プレゼンテーション原稿の推敲 ・ 鹿児島の食についての発表 <p>※ 本時の学習内容を踏まえた発表原稿への加味・修正</p>	イー① ウー① ウー②	後日ペーパーテスト
5	<p>○ [middle task] 鹿児島よさを発表しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プレゼンテーション原稿への加筆・修正 ・ 発表練習 <p>※ 発表原稿への加味・修正とスピーチ発表の練習</p>	アー① イー① ウー②	意見発表 発表原稿
6	<p>○ [middle task] 鹿児島よさを発表しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プレゼンテーション原稿への加筆・修正 ・ 発表練習 ・ L A F を通した自己課題解決 <p>※ 発表原稿への加味・修正とスピーチ発表の練習</p>	アー① イー① ウー②	意見発表 発表原稿
7	<p>○ [large task] 鹿児島よさを台湾の実習生に伝えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表練習 ・ プレゼンテーションの相互評価・再構成 <p>※ 発表原稿への加味・修正とスピーチ発表の練習</p>	イー① ウー① ウー②	ビデオ撮影 発表原稿
8	<p>○ [large task] 鹿児島よさを台湾の実習生に伝えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 台湾実習生への意見文の発表 <p>※ 提出用ワークシートへの発表原稿の清書</p>	イー① ウー①	ビデオ撮影 発表原稿

4 本時の計画

(1) 本時のタスク

「白くまのプレゼンテーションにスパイスをかけよう」

(2) 指導の重点

「話すこと」「聞くこと」

(3) 本時の目標行動

導入時において、教師とのやりとりやICEモデルを用いたルーブリックシートを通して、large task に向けたこれまでの授業や家庭学習における自己課題に気付く。また、生徒同士でやりとりをする際には、ジェスチャーを有効に使いながら考えを伝え合う。そして、生徒同士に共通する課題に基づいたタスクを把握する。その後、教科書の本文について聞き取りを行い、教師とのやりとりを通して、本文の概要を理解する。さらに、教科書本文を通し、比喻表現などの工夫について理解する。その後、教科書の音読練習を行う。次に、導入時に気付いた表現の工夫や教科書から学んだ比喻表現を使ってモデル文や各自で作成した発表原稿を改善し、発表する。終末時には、再びICEモデルを用いたルーブリックシートを基に、自己課題の解決状況や今後の見通し、家庭学習の内容を確認する。

(4) 本時の指導目標

- ア 間違いを恐れず自分の意見を発表したり、友人の意見に関心をもちながら聞いたりする態度をはぐくむ。 【学びに向かう力、人間性等】
- イ 鹿児島よさを、まとまりのある文章の中で、表現の工夫を用いて考えを分かりやすく伝えることができるようにさせる。 【思考力、判断力、表現力等】
- ウ 教科書本文の内容を、自身の実際の生活に関連させたり、既存の知識を活用したりしながら、適切に理解することができるようにさせる。 【思考力、判断力、表現力等】
- エ 現在完了〔have + 動詞の過去分詞形〕の継続、経験を用いた文構造の形、意味、用法を理解させる。 【知識及び技能】

(5) 授業設計上の工夫

ア よりよいプレゼンテーションを目指した指導の工夫 (教科論5-(1)-②-ア-(イ))

自分の考えや思いを受け手に伝えることで、受け手の心的な変化を促し、考えや行動を生み出させるためには、受け手の文化や背景、状況を理解した上で、受け手が分かりやすい表現に言い換えたり、具体例をあげたりして表現することが必要となる。また、受け手の共感的な理解を促すには、単に事実を伝えるだけではなく、創造的な思考や感性・情緒等を踏まえた表現をする必要がある。

そこで、教科書本文やモデルとなるプレゼンテーションなどを基に、比喻表現やキーワードの活用、たとえ話などによる表現の工夫に気付かせたり、生徒の発言や発表の内容に対し、発言内容を基に「簡略化」や「例示」、「理由・根拠」などの観点から教師が発話を返したりする。さらに、表現の工夫を用いてモデル文を改善させる言語活動に取り組みせ、表現の工夫を用いることの効果を実感させる。そうすることで、生徒が互いに知識・技能や経験を基に情報をよりよくまとめることができるようになったり、他者の考えや意見を共感的に理解することができるようになったりすると考える。

このような工夫を通し、生徒が他者に対する理解を基に、適切な表現の工夫を用いながら自分の考えや思いを伝え、受け手の心的な変化を促すことができれば、豊かなコミュニケーションを図る資質・能力を育成できると考えた。

(6) 本時の実際 (4/8)

区分	教授=学習過程	時間	生徒の活動	指導上の留意点 ◆評価 □補説 (研究との関連)	
導入		10'	1 英語で挨拶する。 2 教師とのやりとりを通して、プレゼンテーションで効果的な表現の工夫に気付く。 3 自己課題を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> 英語学習の雰囲気をつくる。 ICT機器を用いたり、表現の工夫を視覚化することで、生徒が自身の発表原稿と比較しながら表現の工夫に気付くことができるようにする。 (教科論5-(1)-ア) ICEモデルを用いたルーブリックシートを活用させる。 	
			35'	4 本時のタスクを把握する。 5 教科書本文について教師とやりとりをする。 6 教科書本文のCDを聞く。 7 教科書本文の内容について、教師の質問に答える。 8 教科書本文の音読練習を行う。 9 表現の工夫を用いて、モデル文を改善する。 (1) ワークシートを用いて、モデル文を改善する。 (2) ペアで改善点を確認する。 (3) グループで発表する。 10 全体で改善したモデル文を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習内容を想起させ、鹿児島によさについての自分の考えをよりよく相手に伝えたいという意欲をもたせた上で、本時のタスクを提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 白くまのプレゼンテーションにスパイスをかけよう </div> <ul style="list-style-type: none"> ピクチャーチャートを用いながら、登場人物や場面設定について確認し、教科書本文に関するスキーマを形成する。 メモを取らせながらCDを聞かせる。 推論発問や評価発問を取り入れる。 (教科論5-(1)-イ) <p>◆ 教師の質問に答えることができたか。 □ 新出語彙を再確認し、聞き取りのポイントを与えた上で、再度CDを聞かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語の音声的特徴やジェスチャーに留意させる。 表現の工夫を含んだ複数の英文をモデル文に挿入させ、共感的な理解を促すことができるように工夫させる。 板書された表現の工夫を参考にさせる。 (教科論5-(1)-ア) <p>◆ 表現の工夫を用いて、共感的な理解を促しているか。 □ 生徒が用いた工夫を全体で確認し、その効果について吟味させ、再度工夫を考えさせる。</p>
				5'	11 本時の学習内容を振り返り、自己課題について確認する。 12 今後の活動の見通しや家庭学習について確認する。